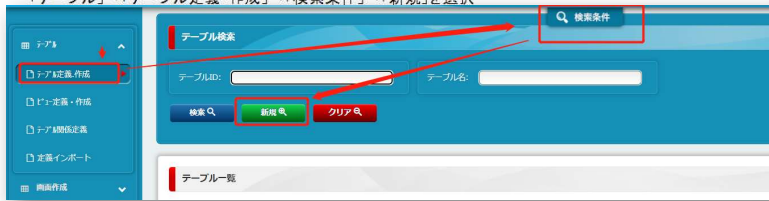


■テーブル新規作成

「テーブル」→「テーブル定義・作成」→「検索条件」→「新規」を選択



■テーブル項目定義

- ①テーブルID
必須設定項目
- ②テーブル名称
必須設定項目
- ③項目新規
テーブルヘフィールド追加
- ④テンプレートテーブル利用定義
リストからテンプレートテーブル定義をインポートしてテーブル、フィールドを設定(図1)
- ⑤保存
- ⑥キャンセル
- ⑦マスター情報
チェックあり: マスタテーブルとして管理
チェックなし: トランザクションテーブルとして管理
- ⑧データベース反映
チェックあり: テーブル定義および業務テーブルに保存される
チェックなし: テーブル定義にのみ保存される
- ⑨データ型強制変更
チェックありの場合、既に存在するレコードを変更後のデータ型に変換できない場合、NULLに更新する



図 1



■項目追加

- ①項目名称
必須項目
- ②データ型
文字列 double
整数型 text
日付 blob
日付時刻
- ③項目ID
項目名称を入力すると名称から自動的にIDを設定するが、手入力による設定も可能
- ④長さ
文字列: 指定必須
整数: 指定する場合、半角数字で指定
Double: 指定する場合、桁数合計、小数点以下の桁数を半角数字で指定。例:「10.2」
日付、日付時刻、時刻: 指定不要
text, blob: 指定する場合、半角数字で指定
- ⑤主キー
ユニーク制約
- ⑥必須
NOT NULL制約
- ⑦検索条件:
画面自動作成時、検索画面の検索条件として設定
- ⑧検索結果:
画面自動作成時、検索画面の検索結果として表示
- ⑨デフォルト表示形式:
画面項目作成時のデフォルトの表示形式
- ⑩デフォルト値
値が設定されていない場合のデフォルト値
- ⑪暗号化
データを暗号化してDBに保存

項目編集

1 項目名称:

2 データ型: 文字列

3 項目ID:

4 長さ:

5 主キー:

6 必須:

7 検索条件:

8 検索結果:

9 デフォルト表示形式: 4. Textbox

10 デフォルト値:

11 暗号化:

確定 キャンセル

※必須項目デフォルト値が設定していない場合、テーブル変更する時に、数字は0、日付は1900-01-01、時刻は00:00:00に設定します。

■フィールド項目の編集

- ①編集
- ②参照
対象のフィールドを参照する画面項目リストをExcelで出力
- ③削除
- ④項目順
▲▼をドラッグすることでフィールドの順序を入れ替え可能
- ⑤データ削除(図2)
部分データ削除: 指定列を選択して、部分的にデータを削除できる(指定列のデータ)
全データ削除
- ⑥Index定義(図3)
フィールド単位でインデックスを設定
- ⑦ユニーク定義(図4)
フィールド単位でユニーク制約を設定
- ⑧SQLダウンロード
テーブル定義内容をSQLで出力
- ⑨参照情報(図5)

テーブル項目定義

テーブルID: T_YAKUWARI テーブル名称: T_役種 マスタ情報 ?

順番	項目ID	項目名称	データ型	+	必須	長さ	編集	参照	削除	項目順
1	YAKUSHOKU	役種	文字列	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2				
2	YAKUSHOKU_NAME	役種名	文字列	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	30				

5 データ削除 6 Index定義 7 ユニーク定義 8 項目追加 データベース反映 ? データ型強制変更 ? 9 保存 キャンセル

図2



図3

- ① 左側:「+」ボタンを押下、インデックスを作成可能
- ② インデックス名入力
- ③ 右側:対象チェック
- ④ 保存

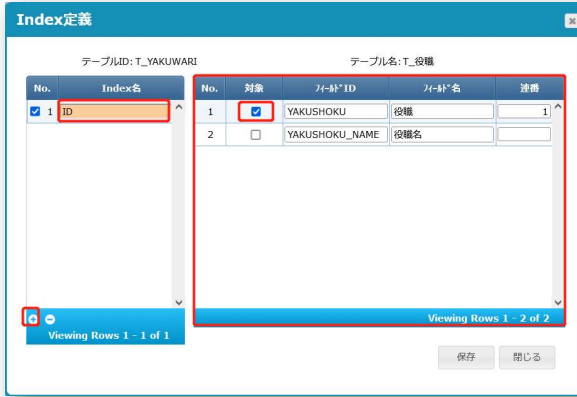


図4

Indexと同様に設定可能



図5

参照結果ファイル

テーブルID	テーブル名	ユニークキー名	ユニークキー	対象	フィールドID	フィールド名	連番
T_YAKUWARI	T_YAKUWARI	unique	ID	<input checked="" type="checkbox"/>	1	ID	1
T_YAKUWARI	T_YAKUWARI			<input type="checkbox"/>	2	役職名	